

れいわ5ねんど

かていがくしゅうのてびき

(ていがくねんよう)



なかのくりつみなみのしょうがっこう

家庭学習の手引き（保護者用）

1 ねらい

家庭学習は、学校で学習したことを振り返り、学力を定着させるための大切な場です。また、授業では扱われないような内容について、詳しく調べたり、追究したりすることができます。

自ら学ぶ習慣を身に付けることで、今後の学力向上や興味関心の広がりにもつながっていきますので、家庭学習を習慣化させましょう。

2 時間の目安

学年×10分以上

1年生 10分 2年生 20分 3年生 30分

4年生 40分 5年生 50分 6年生 60分

※あくまで、目安です。意欲が続くようでしたら、より長時間取り組ませることも考えられます。

3 取り組ませ方

○学校から出る宿題を最初にさせてください。

○時間とやる気に余裕がある場合には、自主勉強や読書などプラスの取組をさせてください。

○集中力が持続しない場合には、他の内容から始めたり、短い休憩をとらせたりするなど、工夫してください。

○学習が終わったら、すぐに次の日の準備をさせてください。

4 家庭学習の役割

○学習時間の確保

塾や習い事など、家庭によって放課後の時間の使い方は、様々だと思えます。忙しい日もあると思いますが、短い時間でも机に向かう時間を必ず確保してください。また、あまり遅い時間帯にならないよう、無理のない時間設定をしてください。

○学習環境の整備

テレビがついていたり、スマートフォンやパソコンをすぐに触ったりできる環境は学習に適しているとはいえません。子供が集中して学習できるような場をつくってください。

○見届け・励まし

子供が取り組んでいるものに目を通してください。よくないところに、つつい目が行きがちですが、がんばったところにも目を向け、大いにほめてあげてください。

○学校との連携

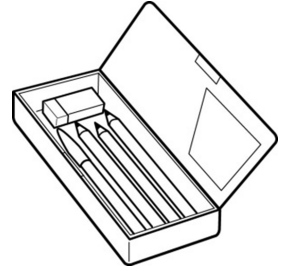
家庭の学習の様子で、気になる点等ありましたら、学校までお知らせください。

※こちらの「学習の手引き」は、ご家庭で保管しておいてください。

かていがくしゅうの てびき (ていがくねん)

1 はじめるまえに

- つくえの うえや まわりを きれいに しよう。
- テレビや おんがくは けそう。
- えんぴつや けしごむ、したじきなどを そろえよう。



2 しゅくだいの とりくみかた

- ただししい しせいで とりくもう。
- さいごまで きを そらさずに、しゅうちゅうして とりくもう。
- おわったら、かならず みなおそう。



3 しゅくだいの ほかにも ちょうせんしよう

<こくご>

- きょうかしょで ならったところを、はっきりしたこえで すらすらよもう。
- どくしょを しよう。
- ひらがなや かたかな、かんじを ただしくかいて おぼえよう。
- そのひの できごとを にっきに かこう。

<さんすう>

- きょうかしょで ならった もんだいを もういちど とこう。
- おうちの ひとと とけいの よみかたを べんきょうしよう。

4 おわったら

- おうちの ひとと いっしょに、みなおしを しよう。
- えんぴつを けずって、ふでばこを せいりしよう。
- つくえの うえや まわりを きれいに して、つぎのひの じゅんびを しよう。

